

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月6日

上場会社名 塩水港精糖株式会社
 コード番号 2112 URL <http://www.ensuiko.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務人事部長
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月12日

上場取引所 東

(氏名) 浅倉 三男
 (氏名) 黒田 一晴

TEL 03-3249-2381

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	21,085	—	513	—	786	—	537	—
20年3月期第3四半期	19,739	△6.2	463	85.1	739	69.4	630	△66.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	20.01	—
20年3月期第3四半期	23.48	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭	円 銭	
21年3月期第3四半期	28,421	4,213	4,213	4,887	14.8	156.86	156.86	
20年3月期	28,563	4,887	4,887	4,887	17.1	181.93	181.93	

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 4,213百万円 20年3月期 4,887百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
20年3月期	—	—	—	5.00	5.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,000	6.0	470	△8.8	820	△1.6	570	△18.9	21.22

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 — 社(社名) 除外 — 社(社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

(注) 詳細は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 35,000,000株 20年3月期 35,000,000株
 ② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 8,138,389株 20年3月期 8,137,248株
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第3四半期 26,861,885株 20年3月期第3四半期 26,862,909株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

業績予想に関する事項につきましては、2ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

2. 当連結会計年度より、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い、四半期連結財務諸表を作成しております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間においては、米国のサブプライムローン問題に端を発した世界的金融不安を背景に、わが国の経済は円高と需要減退により広汎な産業分野において生産、設備投資、雇用などが低迷し、先行き不安から個人消費は伸び悩み、景気は減速感を一層強める状況で推移しました。

かかる状況の中、当第3四半期連結累計期間の当社グループの業績につきましては、砂糖事業は、エネルギー原料の著しい高騰に伴う製造コストの上昇がありましたが、輸入原料糖の効率的な調達やビール系飲料の新規需要の開拓、採算重視の営業に努めました結果、第2四半期連結累計期間は売上高・経常利益とも計画を達成しましたものの、第3四半期に入り、経済環境の悪化に伴う急激な消費の低迷により厳しい販売競争を余儀なくされ、前年同期に比べ減収となりましたが、当第3四半期連結累計期間においては売上高・経常利益とも概ね計画通りに推移しました。

事業の種類別セグメントの業績につきましては、食品事業部門の売上高は20,415百万円（前年同期比1,295百万円増）、営業利益は926百万円（同240百万円増）となりました。不動産賃貸部門の売上高は669百万円（前年同期比49百万円増）、営業利益は122百万円（同2百万円減）となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は21,085百万円（前年同期比1,345百万円増）、連結経常利益は786百万円（同6.2%増）、連結純利益は537百万円（同14.8%減）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 財政状態

当第3四半期の総資産は前連結会計年度末に比べて141百万円減少し、28,421百万円となりました。これは、主に有価証券の時価下落等による投資有価証券の減少によるものであります。

負債合計は借入金の増加等により前連結会計年度末に比べて531百万円増加し、24,208百万円となりました。

また、純資産合計は前連結会計年度末に比べて673百万円減少し、4,213百万円となりました。これは主に投資有価証券の時価評価によるその他有価証券評価差額金の減少によるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益の計上及び減価償却費等により285百万円となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の取得による支出等により△1,819百万円となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の借入による収入等により1,205百万円となりました。

以上により、当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の期末残高は918百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

9月以降は、米国に端を発した金融不安、株式市場の混乱に加え年末からの急激な円高を受け、輸出関連の企業収益は大幅に悪化し実体経済は落ち込む状況となりました。精糖業界におきましては、個人消費の冷え込みによる需要の減少や、円高による加糖調製品の輸入増加も予想され、先行き不透明な状況が続きますが、平成21年3月期通期連結業績予想につきましては、平成20年5月14日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

固定資産の減価償却費の算定方法

固定資産の年度中の取得、売却又は除却等の見積りを考慮した予算に基づく年間償却予定額を期間按分する方法によっております。

なお、定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算出する方法によっております。

②四半期特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続き・表示方法等の変更

① 第1四半期連結会計期間から「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 棚卸資産については、従来、移動平均法による原価法によっておりましたが「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号)が適用されたことに伴い、第1四半期連結会計期間から移動平均法による原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。

なお、この変更により営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益が2百万円減少しております。

③ 所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引にかかる方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成5年6月17日 最終改正平成19年3月30日 企業会計基準第13号)及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成6年1月18日 最終改正平成19年3月30日 企業会計基準適用指針第16号)が、平成20年4月1日以降開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用できることになったことに伴い、第1四半期連結会計期間からこれらの会計基準等を適用しております。

なお、第1四半期連結会計期間及び第2四半連結期会計期間におきましては、所有権移転外ファイナンス・リース取引が存在せず、当第3四半期連結会計期間より発生したため、当第3四半期連結会計期間から、通常の売買取引に係る会計処理を行っております。

これによる損益への影響はありません。

5 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	918	1,255
受取手形及び売掛金	2,264	1,527
有価証券	—	130
商品及び製品	977	919
仕掛品	162	291
原材料及び貯蔵品	808	628
繰延税金資産	97	65
その他	1,096	879
貸倒引当金	△3	△8
流動資産合計	6,322	5,690
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	9,245	7,867
減価償却累計額	△3,888	△3,708
建物及び構築物(純額)	5,356	4,158
機械装置及び運搬具	10,547	10,330
減価償却累計額	△8,064	△7,779
機械装置及び運搬具(純額)	2,482	2,550
工具、器具及び備品	305	293
減価償却累計額	△258	△252
工具、器具及び備品(純額)	47	40
土地	5,209	5,209
建設仮勘定	56	974
有形固定資産合計	13,152	12,933
無形固定資産		
のれん	25	40
その他	45	205
無形固定資産合計	70	246
投資その他の資産		
投資有価証券	7,252	8,904
長期貸付金	464	386
繰延税金資産	990	214
その他	168	188
投資その他の資産合計	8,876	9,693
固定資産合計	22,099	22,873
資産合計	28,421	28,563

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	793	647
短期借入金	16,747	15,129
未払法人税等	87	86
未払消費税等	37	103
賞与引当金	33	64
その他	1,234	2,118
流動負債合計	18,933	18,148
固定負債		
長期借入金	3,538	3,816
繰延税金負債	—	0
退職給付引当金	1,366	1,371
役員退職慰労引当金	199	186
その他	170	153
固定負債合計	5,274	5,527
負債合計	24,208	23,676
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,750	1,750
資本剰余金	266	266
利益剰余金	5,538	5,136
自己株式	△3,116	△3,116
株主資本合計	4,438	4,036
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△230	981
繰延ヘッジ損益	5	△131
評価・換算差額等合計	△225	850
純資産合計	4,213	4,887
負債純資産合計	28,421	28,563

(2)【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	21,085
売上原価	17,346
売上総利益	3,738
販売費及び一般管理費	3,225
営業利益	513
営業外収益	
受取利息	65
受取配当金	170
持分法による投資利益	265
雑収入	59
営業外収益合計	560
営業外費用	
支払利息	185
支払手数料	35
デリバティブ損失	65
雑損失	0
営業外費用合計	287
経常利益	786
特別利益	
投資有価証券売却益	0
特別利益合計	0
特別損失	
投資有価証券評価損	30
役員退職慰労金	3
特別損失合計	33
税金等調整前四半期純利益	753
法人税、住民税及び事業税	245
法人税等調整額	△29
法人税等合計	215
四半期純利益	537

【第3四半期連結会計期間】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)
売上高	6,858
売上原価	5,488
売上総利益	1,369
販売費及び一般管理費	1,104
営業利益	265
営業外収益	
受取利息	22
受取配当金	0
持分法による投資利益	34
為替差益	45
雑収入	2
営業外収益合計	106
営業外費用	
支払利息	63
支払手数料	11
デリバティブ損失	95
雑損失	0
営業外費用合計	171
経常利益	201
特別利益	
投資有価証券売却益	0
特別利益合計	0
特別損失	
投資有価証券評価損	2
特別損失合計	2
税金等調整前四半期純利益	199
法人税、住民税及び事業税	156
法人税等調整額	△45
法人税等合計	110
四半期純利益	88

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	753
減価償却費	667
のれん償却額	15
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△4
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	12
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△30
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△4
受取利息及び受取配当金	△235
支払利息	185
為替差損益 (△は益)	6
持分法による投資損益 (△は益)	△265
投資有価証券売却損益 (△は益)	△0
投資有価証券評価損益 (△は益)	30
売上債権の増減額 (△は増加)	△737
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△107
その他の資産の増減額 (△は増加)	△119
仕入債務の増減額 (△は減少)	146
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△66
その他の負債の増減額 (△は減少)	215
小計	461
利息及び配当金の受取額	251
利息の支払額	△182
法人税等の支払額	△244
営業活動によるキャッシュ・フロー	285
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△689
無形固定資産の取得による支出	△0
投資有価証券の取得による支出	△1,144
投資有価証券の償還による収入	130
投資有価証券の売却による収入	13
投資その他の資産の増減額 (△は増加)	△0
貸付けによる支出	△330
貸付金の回収による収入	201
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,819

(単位：百万円)

当第3四半期連結累計期間
 (自平成20年4月1日
 至平成20年12月31日)

財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	6,210
短期借入金の返済による支出	△4,520
長期借入れによる収入	1,300
長期借入金の返済による支出	△1,649
自己株式の取得による支出	△0
配当金の支払額	△134
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,205
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△336
現金及び現金同等物の期首残高	1,255
現金及び現金同等物の四半期末残高	918

注記事項

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結会計期間(自平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

	食品事業 (百万円)	不動産賃貸事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する 売上高	20,415	669	21,085	—	21,085
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	20,415	669	21,085	—	21,085
営業利益	926	122	1,049	(536)	513

(注) 1 事業区分は、製品系列により決定しております

2 各事業の主要製品

事業区分	主要製品
食品事業	砂糖、オリゴ糖、サイクロデキストリン
不動産賃貸事業	工場賃貸

【所在地別セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

本邦以外の国又は地域に所在する在外支店及び連結子会社がないため該当事項はありません。

【海外売上高】

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変化があった場合の注記

当第 3 四半期連結累計期間（自 平成 20 年 4 月 1 日 至 平成 20 年 12 月 31 日）

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

(1) (要約)四半期連結損益計算書

前第3四半期連結累計期間(自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)

科 目	期 別	
	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)	
	金額	百分比
I 売上高	19,739	100.0
II 売上原価	16,017	81.1
売上総利益	3,722	18.9
III 販売費及び一般管理費	3,259	16.6
営業利益	463	2.3
IV 営業外収益	504	2.6
受取利息及び配当金	181	
持分法による投資利益	274	
デリバティブ利益	28	
雑収入	20	
V 営業外費用	228	1.2
支払利息	186	
支払手数料	37	
雑損失	5	
経常利益	739	3.7
VI 特別利益	221	1.1
投資有価証券売却益	221	
VII 特別損失	31	0.1
役員退職慰労金	22	
たな卸資産廃棄損	1	
投資有価証券評価損	3	
会員権評価損	0	
その他特別損失	3	
税金等調整前四半期(当期)純利益	929	4.7
法人税、住民税及び事業税	347	1.8
法人税等調整額	△ 48	△ 0.3
四半期(当期)純利益	630	3.2

(2) (要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書

前第3四半期連結累計期間(自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日) (単位:百万円)

科 目	当四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期(当期)純利益	929
減価償却費	609
のれん償却額	15
退職給付引当金の増減額	76
役員退職慰労引当金の増減額	53
賞与引当金の増減額	△ 49
貸倒引当金の増減額	4
受取利息及び受取配当金	△ 156
支払利息	186
為替差損益	1
持分法による投資損益	△ 274
投資有価証券売却損益	△ 221
投資有価証券評価損	3
その他の投資評価損	0
売上債権の増減額	△ 610
たな卸資産の増減額	659
その他の資産の増減額	81
仕入債務の増減額	△ 221
未払消費税等の増減額	78
その他の負債の増減額	△ 71
小 計	1,092
利息及び配当金の受取額	163
利息の支払額	△ 184
法人税等の支払額	△ 445
営業活動によるキャッシュ・フロー	626
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△ 875
無形固定資産の取得による支出	△ 0
投資有価証券の取得による支出	△ 41
投資有価証券の売却による収入	341
その他の投資の取得による支出	△ 9
その他の投資の売却による収入	0
貸付けによる支出	△ 310
貸付金の回収による収入	133
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 761
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	6,721
短期借入金の返済による支出	△ 6,181
長期借入れによる収入	1,300
長期借入金の返済による支出	△ 1,809
配当金の支払額	△ 135
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 104
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 1
V 現金及び現金同等物の増減額	△ 240
VI 現金及び現金同等物の期首残高	1,200
VII 現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	959